

臨地実習【成人・老年看護学実習Ⅰ】

所属/担当教員	衛生看護学院 看護科 教員		
対象学年/開講時期	第2学年/後期	単位数	3単位
履修の目的 成人期・老年期にある対象の問題を理解し、疾病を持ちながら生きていく事を支える看護を実践できる			
授業の形式	臨地実習		
授業評価の基準等	出席状況および実習状況を評価表に基づいて総合的に評価する。		
教科書・参考図書	これまでの看護全般の講義で使用したテキストおよび資料		

【授業計画・内容】

実習目標

- 1) 成人期・老年期にある対象の問題を理解し、その健康問題に応じた援助ができる
- 2) 成人期・老年期にある対象のQOLを高める関わり方ができる
- 3) 成人期・老年期にある対象の健康障害が、生活機能に及ぼす影響を理解できる
- 4) 対象の看護を通じて保健医療チームの一員としての役割を理解できる

実習内容（詳細については実習要綱の「成人・老年看護学実習Ⅰ」を参照）

実習施設：J A秋田厚生連 平鹿総合病院 3はな・4, 5, 7, 8はな・もり病棟
独立行政法人国立病院機構 あきた病院 南北1・2病棟

実習方法：J A秋田厚生連 平鹿総合病院 成人期・老年期にある患者を受け持つ
{

 病棟：10日間
 1日学内指導
 1日まとめ

独立行政法人国立病院機構 あきた病院 病院見学（難病についての実習内講義を含む）、重症心身障害病棟
{

 2日間主に見学実習を行う
 1日まとめ

実習配置：実習配置表参照